

臨床検査室の皆様へ

— 血糖測定値に関する安全性情報 —

測定器の種類により血糖値が高値を示す可能性があります

平成22年10月

お客様各位

バクスター株式会社
メディカルディレクター
アングラス・P・トラネウス

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社製品「**エクストラニール腹膜透析液**」に関わる安全性情報及び血糖測定器に関して再度ご案内申し上げます。

本剤をご使用の患者様におかれましては、特定の血糖測定方法により測定結果に影響を与えることがあります。**必ずブドウ糖以外に交差反応を示さない血糖測定器と試験紙をご使用ください**ますようお願い申し上げます。なお、これらの方法は医療機関の検査室にて一般的な血糖測定方法です。ご使用になっている血糖測定器と試験紙の測定方法に関しては、各メーカーにご確認ください。血糖測定器の適合性リスト等の詳しい情報につきましては、添付文書もしくはwww.glucosesafety.comをご覧ください。

ブドウ糖以外に交差反応を示さない測定器と試験紙とは、マルトースやその他の糖類の干渉を受けないものを指します。**エクストラニール(イコデキストリン)腹膜透析液**の使用により、血中のマルトース値が上昇することが報告されており、そのために、必ずブドウ糖以外に交差反応を示さない血糖測定方法や試験紙を使用する必要があります。

補酵素としてピロロキノリンキノンを使用したグルコース脱水素酵素法 (GDH-PQQ)、もしくはglucose-dye-oxidoreductase法を使用している血糖測定器および試験紙は**使用しないでください**。また、補酵素としてフラビンアデニンジヌクレオチドを使用したグルコース脱水素酵素法 (GDH-FAD) による一部の血糖測定器および試験紙にも、**使用できないものがあります**。これらの測定方法を用いた場合、マルトースの干渉により、**エクストラニール(イコデキストリン)腹膜透析液**使用患者において実際より高い血糖値を示す場合があります。**エクストラニール(イコデキストリン)腹膜透析液**使用患者が、これらの血糖測定器および試験紙を使用して測定した血糖値が、正常値内であった場合に、低血糖症を見逃してしまう可能性があります。これにより、医療従事者の皆様や患者様が適正な血糖値をコントロールするのに支障を生じる恐れがあります。また、誤った高血糖値を示すことにより、インスリンの過量投与による低血糖症を来したりする恐れがあります。どちらの場合も、その低血糖症により意識消失、昏睡、神経障害及び死亡に至る危険性があります。

エクストラニール(イコデキストリン)腹膜透析液の使用を中止しても、血糖測定器の干渉可能性のリスクがすぐになくなることはありません。使用中止後2週間までは、実際より高い血糖値を示す可能性があります。

血糖値を測定するためにどの血糖測定方法を使用しているか判定するためには、血糖測定器および試験紙**両方の確認**が必要です。疑問がある場合には、血糖測定器および試験紙メーカーに使用している血糖測定方法をお問い合わせください。

電子カルテを使用されている場合には、上記の血糖測定器および試験紙の干渉可能性に関する情報を、全てのユーザーにわかるよう適切なフィールドに記載してください。

敬 具